

平成29年9月29日

愛知県知事 大村秀章 様

高棚町内会長 長坂勝継

高棚土地改良協議会会長 江川 攻

株式会社デンソー高棚製作所所長 小笠原健治

高棚町農用地利用改善組合組合長 長坂勝継

高棚町営農組合代表理事 江川裕治

高棚環境向上委員会会長 長坂勝継

稗田川を安全安心な川にする会会長 神谷義孝

安城市議会議員 神谷昌宏

安城市議会議員 石川博雄

稗田川堤防の改修要望について

稗田川は、安城市高棚町を源とし、高浜市、碧南市を通り、油ヶ淵、衣浦湾へ流れています。

高棚町では、一部で下水道が敷設されたものの、各世帯の雨水排水は稗田川に集まります。また、先進農業を支える大規模な農用地からの雨水排水や、産業愛知の一翼を担うデンソー始め優良工場からの雨水排水も、稗田川に集まります。

このように、稗田川は、高棚町6.66km<sup>2</sup>のほぼ全ての雨水排水を一手に集め、この地域の発展を支えている重要な河川です。

稗田川は、茨池川合流地点より上流（安城市所管）においてはコンクリート壁で整備されていますが、茨池川合流地点より下流（愛知県所管）においては、下部は石組み、上部は土・草のままが多く見られます。

このため、17年前（平成12年）の東海豪雨では、稗田川の水は堤防を越えて氾濫しました。数年前の大雨でも、堤防を越えて水田地帯を覆うように氾濫し、住宅の基礎まで到達しました。こうした、近年の度重なる豪雨・大雨にもかかわらず、下流の本格改修は行われてきませんでした。

こうした中、昨年度においては、デンソー下流法面の陥没補修および中敷橋の橋下崩落箇所の補強改修など、急な要望にもかかわらず迅速なる実施にご尽力いただき、心より感謝を申し上げます。

私共町民の安全安心はもちろん、通行車両の安全、この地域の一層の発展などに大きく寄与されたものと、大変喜んでおります。

しかし、なお稗田川には多くの課題が残されておりますので、特に以下3点について要望します。

#### （1）中敷橋から下流100m付近の左岸石積み崩落の危険箇所

中敷橋から下流100m付近の左岸には、稗田川の長年の水流により、石積みから石が抜け落ち、石垣が緩んでおります。石垣の隙間には、笹、蔓性植物、雑木などが根を張り、石垣から外に大きく繁っております。これら繁った雑木等は、大雨による水圧を直に受け、さらに石垣の壁面を変形させ、崩落の危険が高くなっております。

該当箇所のすぐ隣には住宅があり、数年前の大雨では床下まで浸水しております。昨今のゲリラ豪雨や温暖化で大型化した台風が接近する都度、緊張する生活を強いられている現状であります。

この一帯の石垣の全面改修など、早急の対応処置を要望いたします。

## (2) 高浜市境までの下流左岸の石積み崩落箇所

高浜市境までの下流左岸においては、堤防の石積み崩落箇所が数か所点在しております。川底は土砂が堆積し、浅くなっております。周辺の農地は、現在、国・県・市・地元負担による大型ほ場整備事業が進められ、先進的な農業基盤が形成されています。大雨が降れば、川床に散乱する石が、濁流により崩れた部位を拡大させ、新たな崩落箇所を発生させる崩落スパイラルが懸念されます。また、堤防を越えて、大型ほ場への氾濫も危惧されます。

## (3) 高棚橋～中敷橋の堤防道路の危険性除去

高棚橋から中敷橋までの間の堤防道路は、周辺住民の生活道路として利用されるほか、朝夕の交通渋滞を避けようとする車の抜け道となっております。

堤防道路のガードレールを挟んで伸びた雑草、笹・セイタカアワダチ草など背丈を大きく上回る草が伸び続け、夏季には道路面を覆い見通しが大変悪くなっており、通行する車両と自転車並びに歩行者が接触する事故が懸念されます。こうしたことから、雑草刈の頻度の増加あるいは時期の見直し（伸びきる前）、堤防から道路面に侵食した雑草刈ならびに道路面に堆積した土砂除去をお願いします。

以上、稗田川の現状を把握いただき、危険箇所について、速やかに緊急防災対策を早急に実施いただきたい。

### 【稗田川の問題点と要望事項一覧】

資料1 平成29年度要望分

資料2 平成28年度要望分

資料3 平成28年度改修完了分

資料4 平成29年度要望箇所

資料5 平成28年度要望箇所